

[平成19年10月2日 (火)]

美しい森林づくりニュース 〈NO. 39〉

～ 伝えたい木の文化、残したい美しい森 ～

発信元：林野庁 研究・保全課 森林環境保全班 企画調整係 山口
Tel：03-3502-8111（内線6216）03-3501-3845（直通）Fax：03-3502-2887

ご意見、ご質問は → https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82
バックナンバーは → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

◎ 市民参加により森林整備を進めます（新潟県佐渡市）

－ 鬼太鼓の森づくりシンポジウム「森から発し森に還る」の開催 －

9月22日(土)、新潟県佐渡市において、「鬼太鼓の森づくりシンポジウム」が開催されました。

鬼太鼓とは、500年以上前から佐渡島に伝わり、現在も100以上の集落で受け継がれている伝統芸能であり、鬼の面を被り太鼓をたたいて五穀豊穡、家内安全などを祈る行事です。



佐渡島産材を使った会場での会議

（鬼太鼓の森づくり活動に関する協定締結）

この鬼太鼓を未来永劫継承するため、太鼓やバチの材料となるケヤキやホオノキを地域全体で育成、整備する必要があるとして、鬼太鼓に関わりのある地域関係者が「鬼太鼓の森づくり協議会（会長：佐渡市長）」を設立し、今年1月に関東森林管理局下越森林管理署長との間で「鬼太鼓の森づくり」活動に関する協定を締結したところです。



ケヤキの太鼓

（シンポジウムの開催）

今回のシンポジウムは、市民参加で森林整備を進めようという意識を高めるため、鬼太鼓の森づくり協議会の主催により、佐渡島産の木材で建設された「佐渡太鼓体験交流館」を会場に、約200人の市民が参加して開催されました。

冒頭、高野佐渡市長の挨拶、林野庁長官メッセージ（国有林野総合利用推進室長代読）に続き、基調講演が行われ、佐渡市在住の研究者による鬼の面の分類についてや、石川県白山市の浅野太鼓楽器店代表取



高野佐渡市長の挨拶

締役専務より太鼓の材料となる大径のケヤキを探す苦労談などが報告されました。

続いて開かれたパネルディスカッションでは、美しい森林づくり全国推進会議の設立発起人でもある青山佳世氏をコーディネーターに、佐渡市長、嶋崎鼓童文化財団理事長、小澤林政総合調査研究所理事長らをパネラーに招いて、伝統芸能継承の必要性、木の文化を市民参加で支えている各地の取り組み、わが国の森林の現状などについて意見交換が行われました。



コーディネーター役の青山佳世氏

また、来る10月20日(土)には新穂山^{にいほやま}国有林(佐渡市内)において、市民参加の植樹祭が予定されており、ケヤキやホオノキ等が植栽されることとなっていますので、お近くの皆様のご参加をお待ちしています。

- 今月は「木づかい推進月間」です
“国産材、使って減らそうCO₂”



- 「緑の募金」2007年秋期キャンペーン中！(9～10月)
皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。



※ 「美しい森林づくりニュース」のメールマガジンの配信を始めました。

登録はこちらから → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/mail.html>